

護持



「おかあさんのごはん」  
私がハワイに来てから、一年と  
七ヶ月が経ちました。あつという間に  
時間が過ぎたという感じがしております。  
時間は一日すべての人に同じよ  
うにあります。どのようにその時間  
を過ごすかは、人によつて違います。  
一日一日を大切に、感謝の心を持つ  
て過ごしたいものであります。  
最近、体重を量つてみてびっくり  
しました。一九〇バウンドありま  
した。ハワイに来てから三〇バウン  
ド太りました。ご飯を食べに行くこと  
が多くなり、また、たくさん食べてし  
まうので太つてしまつたのです。そこ

で、ご飯を食べに行くのを少なくして、お家で作るようにしました。私が作るのは、スペゲツティ、フライドライスなどです。

ある日、いつものようにご飯を作っていた時、塩コショウをたくさん入れていることに気がつきました。外にご飯を食べに行くのが多かったので、塩辛い味に慣れてしまっていたのです。お家でも同じような味にしようとしていたのですね。もつと薄い味にして、体に気をつけないと！と思つたとき、私の母親、お母さんのご飯を思い出しました。

母はいつも、野菜をたくさん、塩・しょうゆは少なめにしてご飯を作っていました。私がお昼ご飯にらーめんを食べようとするとき、母はいつも「ダメよ」といつて代わりにトマトスパゲッティ

を作つていました。今思うと、母は私のことを思つてご飯を作つてくれていたのです。私の体が丈夫で元気であるようにとの願いがあつたのです。そして母はご飯だけでなく、私が生まれてからずっと私に願いを持つて私を育ってくれていたのです。おむづ、お風呂、お乳、お話をなど、すべてに願い、愛情があつたのです。私がまだ母のおなかの中に入るときから、母の願いは私に届いていたのです。嬉しいですね、とても有難いですね。いつも母の願いが私と一緒にあります。このことには私がつく時、私は、自分のことを考えました。私は願いを持つて毎日を過ごしているだろうかと。私が毎日話すこと、すること、考えることに、周りの人への願い、愛情を持つてしているだろうかと。

相手のことを思つてゐるつもりで、本当は自分のことだけを考えているかもしません。それが私ですね。  
母が私を思うように、仏様の願いもすべての人届いているのです。大きな懸しみと愛情でだっこしてくれているのです。決して私たち一人ではないのです。私は佛様の願いと一緒に生きています。輝く素晴らしいのちを生きているのですね。願われている自分に気がつく時、それは他の人が自分のためにしてくれたことを知ることであり、そしてその願いに応えていく、願いと一緒に生きていくことになるのです。仏様の願いを共に聞かせていただきましょう。

People can alter their lives by altering their attitude.

・ 二十日 (金) 表千家 紹興茶式 十時 ハワイ別院	・ 十九日 (木) 広島安芸教区音楽連盟訪問 午後四時半から	・ 十三日 - 十四日 (金、土) スカウトサンデー 議制会 ハワイ別院 九時半
--------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------------------

ハワイ別院の納骨堂は、一階と地下にあります。一階の納骨堂は壁紙もよくご覧になっていると思います。写真は地下の納骨堂ですが、仏壇があります。痛みがひどくなつたため、この度修理をするために日本に送られました。若林仏具店が仏壇を直してくださいます。ここにあった仏壇は上田イシさんが寄贈されたものです。今回、イシさんのお孫さんが仏壇を直す費用をすべて出して下さいました。おばあさまの願いがこもった仏壇をきれいにしたいという想いからです。有難うございます。



ハワイ別院納骨堂

### Minister's PBA Benefit Car Wash

Mahalo! 有難うございます！  
1月18日、ハワイ別院にてPBAの新しい校舎を建てるためのCAR WASHが行われました。ホノルル地区の開教使、PBAの生徒、保護者などが一緒に30台以上の車を洗いました。またPBAカフェでは松本珠代を中心、コーヒーなどを売りました。今回のCAR WASHで約\$1,600の売上となりました。たくさんの車

が来ましたので、お断りをしなければならなかった車もありました。それでも多くの方のご協力で今回のCAR WASHをすることができました。2015年の終わりまでに\$2.5mmを集めることは大変です。しかし、小さな石を水の中に投げると、波の輪が広がっていくように、HongwanjiのPBAを思う心、願いがメンバーの方、地域へと広がっていくことで、この目標を達成することができます。今後ともご協力をお願いいたします。

**質問 Question**

ぼくのおばあちゃんは今、八十歳です。おばあちゃんと会うたびに「目はよう見えん、耳も聞こえん、手も震える、ほんとつまらん体になつた。つまらんことだ。」といいます。ぼくはおばあちゃんがそんなことを言うと悲しくなります。どうしたらいいですか。

**答え Answer**

おばあちゃんのことが大好きなんだね。大好きなおばあちゃんがいるんだ。よく「目もた」というと確かに悲しいね。私も九十になるおばあちゃんがいるんだ。よく「目もた」というと確かに悲しいね。

お世

張は「今まで九十年も一緒に頑つてくれたからだよ。お世

教えてせんせい！

話になつてゐるねと、さすつてあげなさいよ」と言つてた。おばあちゃんは、「そうだね」と言つていたけれど、その顔にはどこか辛さがあるようだつた。おばあちゃんは自分が年を重ねて、見えていた目が見えなくなり、聞こえていた耳が聞こえなくなり、動いていたからだが動かなくなつてゐるんだね。昔はこうだつたのに、という思いがあるから「つまらん体になつた」と言うのかもしれないね。私たちは、自分がそうならないといいから、おばあちゃんの気持ちは完全には分からぬかもしれないね。

ところで、お釈迦様つて知つてゐるかな。インドに生まれて仏教を開いた人なんだ。この人は王子様で、お金持ちの生活をしていたんだ。でも、ある日お城の外に出たら年をとつた人を見て、いつかは自分もそうなると知つたんだ。そうなのに年取つた人を見て、嫌に思い、不安に思われた。人は、どうして

病気になつて、年を取つてしまふと思つう？この世に生まれたからなんだ。この世に誕生したからには、絶対に病気になり、年を取り、最後には死んでしまうんだ。この決して避けることがで、きない病気、老い、そして死をどのように考へるかが大事なんだね。お釈迦様は、必ず年を取つてしまふのに、それを受け入れることができない心に苦しみの理由があることを見つけたんだ。本当はどうにもならないことを自分の思う通りにしようとしてできないことが、苦しみなんだ。病気になることは、体を大切にして元気であるとの大きさを、年を取ることは、今の自分を大切にすること、そして死ぬことは、今生きていることを大事にするということを教えてくれているんだ。

いうことは、いろいろなものを失うことであり、同時に、得ることでもあると言われている。年を取ることを嬉しいとは思わないけども、今まで見えてこなかつたものが見えて、聞こえて、感じられる生き方を教えてくれているんだ。「老いよ、有難う」といういのちあり方があるんだ。そして、どんなことがあつても「み手のまんなか」といわれる。病気になつても、年をとつても、耳が聞こえなくとも、頭が禿げても、手が震えても、しづが増えても、どんなことがあっても、ほとけさまが慈しみの心でしつかりと包み込んでくれているんだ。つまり、どんなことがあっても、どんな自分になろうとも、仏様の前では美しい、輝く、素晴らしいのちなんだ。あなたのおばあちゃんも輝く、素晴らしいのちを生きているんだ。つまらんことはないんだよ。

の人、年取つた人、死ぬ人を見て思う気持ちは、自分がそうなつたときに思う気持ちと一緒なんだ。「つまらん体」か「輝く美しいのち」か。でも、仏様はどんな私でも包み込んで願つてくれるんだよ。そして命終わるど、お淨土に生まれて仏となり、ご縁のある方々を導くんだ。

「教えて、せんせい！」だと  
は、みんなから質問を  
聞いています。分からない  
こと、聞こじめたことを  
高麗語で教えてください。

HHMH 2015 slogan

Embrace Change: Awareness  
(Seek Opportunities)

にがつ ほうえん  
**2月のご法縁**

ハワイ教団のスローガンは「変わることを受け止めよう」です。何をどのように変えるのか。変えることは昔、今、そして未来を考えることです。

2月 1日	午前8:00 午前9:30 午後1:00	日本語礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	宗藤達雄開教使 アーヴィ・カウフマン開教使 萩尾豊一開教使
2月 8日	午前8:00 午前9:00 午前10:00 午後1:00	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	萩尾豊一開教使 初瀬部唯可開教使 富岡智史開教使 宗藤達雄開教使
2月 15日	午前8:00 午前9:00 午前10:00 午後1:00	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	初瀬部唯可開教使 アーヴィ・カウフマン開教使 萩尾豊一開教使 富岡智史開教使
2月 22日	午前8:00 午前9:00 午前10:00 午後1:00	日本語礼拝 ダーマスクール礼拝 英語家族礼拝 日中日本語礼拝	富岡智史開教使 ダーマスクールの先生 宗藤達雄開教使 初瀬部唯可開教使

「おめでとうございます」とお正月に挨拶をしたと思っていたら、もう二月ですね。私も27回目の新年をお祝さまで迎えることができました。開教使になる前にハワイにきたとき、ある先生がこう言われました。「無駄なことは何一つないよ。無駄にするのはいつも自分」。このお言葉は私の胸にいつもあります。毎日、いろいろとすることがあると、忙しく感じますね。忙しい、忙しいと言って過ごしていると、本当に大事なものに気が付いていないかもしれません。ひとつひとつが大事なこと。ひとつひとつのが私の人生になっているということ。ひとつひとつを大事にする心が自分を大事にし、周りの人を大事にすることなんですね。ひとつひとつ大切にしたいですね。 Chishi

## 訪問のご案内

ハワイ別院では病院にいる方、お寺へのお参りが出来ない方などへの訪問をしております。ご存知の方がおられましたら、ご連絡をお願いいたします。



KZOO放送 本廟寺アワー 毎週土曜日午前7時半より AM 1210 MHz

2月7日	初瀬部唯可開教使
2月14日	萩尾豊一開教使
2月21日	海谷聰之開教使
2月28日	宗藤達雄開教使

スポンサー料は100ドル以上です。お申込みは初瀬部開教使まで。先生は変わることもあります。  
(808-536-7044)

仏さまのお話を聞いて、毎日の生活の中で感じたことを一緒に味わいます。